

はじめに

(令和3年度事業の概要)

1. 背景

近年、我が国における交通事故死者数は減少傾向にあるものの、交通事故が国民全体の重大な問題であることに変わりはない。そして、交通事故による被害者やその家族・遺族は、事故後、深い悲しみやつらい体験から、様々な悩みを抱えながらの生活を強いられており、交通事故被害者等に対する支援の一層の充実が必要である。

2. 目的

交通事故被害者等（交通事故に遭った被害者やその家族・遺族をいう。以下同じ。）が、深い悲しみやつらい体験から立ち直り、回復に向けて再び歩み出すことができるような環境を醸成し、交通事故被害者等の権利・利益の保護を図ることを本事業の目的とする。

3. 事業の概要（敬称略）

（1）交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム

（令和3年12月2日（木）・ライブ配信及びオンデマンド配信）

子供の頃に交通事故で家族を亡くした子供の支援に向けて、広く一般に情報提供することを目的として、シンポジウムを開催した。今年度は、テーマを「交通事故で親を亡くした子供の支援」として、専門家による講演や、対応事例の紹介を行った。

●講演「親を亡くした子供の心のケアについて」

講師：大阪教育大学学校安全推進センター准教授（精神科医） 岩切 昌宏

●対応事例「交通事件で家族を亡くした子どもの支援についての事例紹介」

講師：（公社）埼玉犯罪被害者援助センター相談援助担当責任者 竹山 律子

●体験談の発表

遺族：根本 圭佑（平成21年（当時6歳）、父を交通事故で失う）

安田 瑞生（平成13年（当時2歳）、父を交通事故で失う）

八木 俊介（昭和55年（当時10歳）、父を交通事故で失う）

●質疑応答

コーディネーター：

飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事

井上 郁美

(令和3年度交通事故被害者サポート事業検討会委員)

専門家：

元同志社大学教授、現同大学刑事司法研究センター嘱託研究員

川本 哲郎

(令和3年度交通事故被害者サポート事業検討会座長)

(2) 交通事故被害者等支援に関する意見交換会

(令和3年10月14日(木)・オンライン開催)

交通事故被害者等の支援に向けて、関係者間の連携を強化し、支援業務の充実を図るため、意見交換会を実施した。

●体験談の発表

遺族：道下 亜美(平成29年(当時14歳)、父を交通事故で失う)

●支援に携わる方からの事例紹介「交通事件で家族を亡くした子どものケア

—学校を軸に支援のあり方を考える—」

講師：(一社)東京公認心理師協会理事／司法関連領域委員長 西脇 喜恵子

●意見交換

(3) 自助グループ運営・連絡会議

(令和3年9月29日(水)・オンライン開催)

交通事故被害者等に接する立場にある者の資質の向上を図ると共に、交通事故被害者等の自助グループ(「同じようなつらさを抱えた者同士が、お互いに支え合い、励まし合う中から、問題の解決や克服を図り、被害に遭う前の平穏な生活を再び取り戻す」ことを目的に集うグループのことをいう。以下同じ。)活動の促進や設立の支援に資することを目的として、ファシリテーター研修を中心としたプログラムを実施した。

●出席団体の課題発表

●ファシリテーター研修「ファシリテーターになろう！」

講師：(株)ひとまち代表取締役 ちょん せいこ

●意見交換

本事業は、いずれも警察庁が株式会社アステムに委託して実施した。

注1) ここでいう交通事故とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの(人身事故)をいう。

4. 検討会

(1) 目的・内容

被害者学、心理学、被害者支援、遺族心理に関する有識者からなる交通事故被害者サポート事業検討会を設置し、令和3年度交通事故被害者サポート事業の実施方針、実施方法、事業総括等について検討する。検討会は、有識者7名の検討会委員により3回開催し、各事業の進捗状況の管理を行うとともに、事業報告書等を作成する。

(2) 委員（敬称略・順不同）

- ・元同志社大学教授、
現同大学刑事司法研究センター嘱託研究員 川本 哲郎（座長）
- ・飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事 井上 郁美
- ・（公社）被害者支援センターとちぎ事務局長、
（公社）全国被害者支援ネットワーク理事 和氣 みち子
- ・武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科准教授、
武庫川女子短期大学部心理・人間関係学科准教授 大岡 由佳
- ・（公社）被害者支援都民センター犯罪被害相談員、
（NPO 法人）いのちのミュージアム理事 中土 美砂
- ・追手門学院大学心理学部心理学科准教授 櫻井 鼓
- ・警察庁交通局交通企画課交通安全企画官 高清水 善弘（令和3年7月まで）
警察庁交通局調査官 遠藤 健二（令和3年8月から）

(3) 開催概要

①第1回検討会（令和3年8月2日（月）・オンライン開催）

- ・令和3年度交通事故被害者サポート事業の実施方針及び実施方法等

②第2回検討会（令和3年12月13日（月）・オンライン開催）

- ア 交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウムの実施結果報告
- イ 交通事故被害者等支援に関する意見交換会の実施結果報告
- ウ 自助グループ運営・連絡会議の実施結果報告
- エ 令和3年度交通事故被害者サポート事業報告書 目次案の報告

③第3回検討会（令和4年2月16日（水）・オンライン開催）

- ア 令和3年度交通事故被害者サポート事業報告書最終案検討
- イ 本年度事業総括

※各章における講演や体験談等の記述については、被害者等の方々の率直な思いを尊重してまとめたものです。また、掲載することにつき御本人の同意を得ております。